



上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



THE MAGIC OF ROTARY



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3036回 例会

2024. 11. 7

会長あいさつ

週報 No.2272
発行 2024年 11月 21日

2024-2025年度
会長 門崎 由幸
幹事 齋藤 哲雄
副会長 坂本 忠光
副幹事 大木 崇寛
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 丹井 亮一

ゲスト
(公社)日本青年会議所
2024年度 国際アカデミー委員会
(公社)埼玉中央青年会議所
2025年度 理事長予定者 高子 景 様
2025年度 専務予定者 飯沼 聡 様
2025年度 出向理事予定者 川村 正衡様

行事予定
11月28日 卓話 新会員卓話
原田 嘉明 会員

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
本日は公益社団法人埼玉中央青年会議所の次年度理事長予定者・高子景様、そして専務予定者・飯沼様、出向理事予定者・川村様、ようこそお出でくださいました。卓話では次年度の計画等を伝えていただければと思います。第30代の理事長予定者に卓話をいただくにあたり、私は20年前、第10代の理事長ということで、基本理念を「知行合一（ちこうごういつ）」と掲げ、知行合一は陽明学の言葉で、知識と行動は表裏一体でなければならないという意味合いです。今年度、私の会長方針は、社会が様々な面で変わってきた中で、ロータリーも変わっていかねばならないだろうと「変化が未来を創る 一変える勇氣、変わる覚悟の挑戦」を掲げました。第10代理事長から、第30代理事長へ伝えたいことは、理事長と執行スタッフだけでは何も達成することはできないということです。メンバー全員がどうしたいか明確にさせていただき、発進していただければと思います。私も会長として会員の皆さんに意図を伝達していますが、なかなか通じないこともあります。通じるか通じないかはトップの熱意ですので、ぜひとも熱意をもって、今の予定者の段階でしっかりと伝えていただければと思います。青年会議所とロータリークラブはともに協力的体制をとっていただければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。
それと前回の会長あいさつでお伝えした地区の件について、回答がきました。前年度の決算では詳細資料が作れないとのこと、地区大会では決議をしないそうです。また地区の法人化に関しては、まずはR Iへ申請を行うそうです。その後、方向性を示していくのかなと思います。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告

齋藤 哲雄幹事

◇11月のロータリーレートは153円です。
◇11/9(土)・10(日)はあげお産業祭ですが、10日にはスポーツ少年団のソフトボール上尾RC杯が上尾氷山川公園で行われ、私が出席予定です。



◇11月16日(土)・17日(日)に地区大会が行われます。
◇11月25日(月)16時から、鴻巣イブニングRCさんの創立記念式典がステラ・デル・アンジェロで開催予定です、門崎会長と私が出席する予定です。

Intercity Meetingキャラバン

桶川ロータリークラブ 天沼 毅夫 会長

今年度、インターシティミーティングを我々のクラブで主管させていただきます。我々のクラブとして実行委員会を組織しましたので、長島実行委員長よりご案内させていただきます。

桶川ロータリークラブ 長島 修 IM実行委員長

早速ですがIMのご案内をさせていただきます。開催日時は令和7年2月27日(木)、場所は響の森 桶川市民ホールです。記念演奏では埼玉県管音音楽隊さんを予定しています。「Fun is the best! ~みんなで楽しく」という意向もあり、IM記念ボーリング大会を3月27日(木)午後4時から北本アイビーホールで、またIM記念ゴルフ大会を4月24日(木)に武蔵丘G.C.(飯能市)でそれぞれ開催を予定しています。ご存じのように今年も三菱機レディーストーナメントのコースです。女子プロゴルフと同じ会場で皆さんに醍醐味を味わってもらおうと思って運営していますので、大勢の皆さんのご参加をお願いいたします。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。



例会主題

(公社)埼玉中央青年会議所 2025年度 第30代理事長予定者 高子 景様

皆さん、こんにちは。
公益社団法人埼玉中央青年会議所 次年度理事長予定者の高子景と申します。どうぞよろしくお願いいたします。日頃より門崎会長をはじめとする上尾RCの皆さまには埼玉青年会議所に多大なるご協力をいただいておりますことに御礼を申し上げます。
実は私はロータリークラブと浅からぬ縁がありまして、大宮東RCさんの提唱クラブである大宮東

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

ローターアクトクラブに25歳~32歳までお世話になり、2回ほど会長も務めました。その際、もしかしたら皆さんとも地区の行事でご面会したかもしれませんが、当時から10kgほど太りましたのでだいぶ相が変わっているかと思ひます。当時アジア第1ゾーン会議の議長も務め、ロータリークラブの皆さまに公私ともにお世話になりましたので改めて御礼を申し上げます。

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。本業はさいたま市議会議員をしていて、現在37歳です。25歳で初めて当選し、市議会議員は4期目です。なぜ市議会議員になったかという、実は私は母子家庭出身で、栄北高校で野球をしていました。小中学校では関東大会や全国大会で優勝するようなりトルチーム、シニアトルチームに所属して、高校も野球推薦で進学しました。野球はケガもあり途中で断念しましたが、大学にも進学し、2010年卒なのですが2008年にリーマンショックが起きて、2009年に就職活動を展開し、当時の有効求人倍率は過去30年でいちばん悪く、就職氷河期よりも低い水準になっていました。そのような中、一生懸命就職活動をしたのですが、力不足もあって就職浪人をする事になったのですが、母子家庭だったので奨学金を高校・大学と借りていたので大学卒業時には600万円くらい借金がありました。2年間就職浪人をしたのですが、奨学金の返済が始まるとうので、ハローワークで求人を探したり、たまたま政治家秘書の募集があったので、それがご縁で2012年9月に政治の世界に入らせていただきました。それから紆余曲折があり、就職した事務所にすぐに退職して2013年5月に市議会議員に初当選しました。まるでシンデレラストーリーのように、ハローワークドリームではありませんが、労務局の方は、紹介した事務所から半年で市議会議員になった事例があると話しているそうです。それから十数年、地元で活動をしています。

そのような中、2015年、27歳で青年会議所に入会し、ここ数年間は日本青年会議所という上位組織へ出向させていただきなご様子ながら、政治家ではあるものの、民間のアプローチで地域を良くしていくことも重要ではないかと考えを改めて気付き青年会議所活動を邁進していたところ、ご縁がありまして次年度理事長予定者になりました。

門崎会長からも紹介いただきましたように、埼玉青年会議所は来年、30周年の節目の年となります。

先輩諸兄が多くいらっしゃるので釈迦に説法な気もしますが、埼玉青年会議所はこの地域に真の自立都市を実現するために設立された団体です。これは行政の枠組みだけでなく、真に自立した地域を創っていき、東京依存から脱却して経済的にも文化的にも豊かな地域を創っていく、そういう理念でできた団体であると解釈しています。その中で、真の自立都市とはなんだろうと考えた時にいろいろな定義があると私も考えています。

いままなからず私が理事長として問題を感じているのは、あまりにも東京に依存しすぎている状態を是正しなければならないのではないかとことです。理事長所信に書かせていただいた文言ではありますが、実は埼玉県民は全国でいちばん睡眠時間が短い県民であるというデータがあります。その理由は簡単で、通勤時間がいちばん長い県民だということです。東京へ通勤する方たちが多いということですね。隣に東京があるのだから独立して何かをするのは不可能だと思います。むしろ東京というキャピタルシティと協力関係を持ちながら経済活動や文化活動を展開していくのは至極当たり前のことで、そのように戦略をしていくのだと思いますが、あまりにも過度に依存している状況にあるが故に、睡眠時間が短くなっています。それは果たして幸福なのかと考えた時に、睡眠は三大欲求のひとつですので、睡眠が短いというのは幸福ではないのではないかと感じさせていただき、東京依存を改善していく足かりになる活動ができればといった形です。また事業計画等を考えさせていただきますところ

その中で、埼玉青年会議所の1丁目1番地として挙げさせていただいた行動指針・方針は、この地域の国際化の推進です。国際化すれば東京依存から脱却できるわけはありませんが、グローバル都市としての認知度が低すぎて、経済や文化での遅れが、数字を見ると如実に表れていると感じています。インバウンドは日本全国にも来るうち埼玉県は5%しかなく、ほとんど見向きもされていません。一方で渋谷や大阪などは日本人より外国人の方が多いのではないかとこのほどです。グローバル化が進んでいく社会の中で、1つの都市が孤立して何かをするのは難しいです。今後はソサエティ5.0の時代が来ると言われていて、22世紀に向けて各都市・地域におけるスマートシティが推進される時代になっていき

ます。これからは国ではなく都市という枠組みが重要になってくる、いかにして都市の枠組みを強くしていくかが、都市間競争に勝っていく重要なファクターであると言われております。そのような中で、内向きになっていくとどうしても都市として取り残されていってしまうおそれがあります。埼玉県は、国内での知名度が高い一方で、海外では知名度が著しく低いことが問題であるとして仮説を立てていただきました。青年会議所として、地域の国際化を推進する何かできないかと考え、来年誘致させていただいたのがJCIアカデミーという事業です。これは青年会議所も世界組織で、JCIが主催するリーダー研修プログラムになり、国の次年度リーダーの予定者が一堂に集まり、約1週間、ホテルに箱詰めになって寝食を共にしながら研修を受けます。埼玉青年会議所で誘致を行い、来年4月このアカデミーを開催することが決定しました。約80か国の方が参加するコンベンション=国際会議はなかなかありません。なので、この地域にとっても史上最大規模のコンベンションになります。それを埼玉中央で主催させていただくのは、理事長としてありがたいなと思っています。いわゆる世界大会は青年会議所でもあり、何度も行くことができますが、JCIアカデミーは理事長予定者だけしか参加できない研修で、その人にとってオンリーワンの研修になり、一生忘れない都市の思い出になります。このアカデミーは先進国だけでなく、中南米やアフリカの国のリーダー予定者も来て、普段はそのような国の方は本来VISAがおりないのですが、日本青年会議所の会頭名で署名を外務省に提出することにより、来日できるようになります。そのような方は、日本

で訪れた都市は埼玉しかなく強烈に思い出に残ることになります。80か国の次年度リーダーに、日本の唯一無二の都市として埼玉を知ってもらえる素晴らしい事業というわけです。この事業を開催の際は、地域の方々にご協力いただきたいと思います。まずはこのアカデミーの期間中、地域にホームステイをしていただきます。ロータリーの皆さまにもホームステイの受け入れをしていただければと考えています。努力にはなりますが、国際交流につながり、最後のフェアウェルパーティーにもお招きして、各国のリーダーが成長した姿を見てもらい喜びを分かち合いたいと思います。この事業はさいたま市に限った対象ではないので、できるだけ多くの地域の魅力を海外の方々にも発信していただければと考えていますので、ぜひとも上尾ロータリークラブの皆さま方にも一人でも多くさまざまな催し物に参加していただければと思います。

これからも引き続きご指導ご鞭撻のほどを賜りたくお願い申し上げます。本日はお招きいただきありがとうございます。



スマイル 高子次年度理事長 卓話ありがとうございました。

出席率	
会員数	33
出席免除	3
出席対象者	30
出席者数	19
63.33%	

細野会員 高子次年度理事長、卓話ありがとうございます。
息子がお世話になっております。
宇多村会員 第5グループIMの大成功をお祈りします！
長沼会員 あげお産業祭がお天気に恵まれますように！
門崎会長/齋藤哲雄幹事/坂本副会長/大木崇寛副幹事/大塚信郎会員/尾花会員/大木保司会員/島村会員/深澤会員/関口和夫会員/樋口会員/齋藤修弘会員/関口良康会員/山崎会員/木田会員/荒井会員

例会日 毎週木曜日12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

